

事故連続 高浜原発の再稼働やめよ

参院予定候補そろって関電に抗議・申し入れ

利益第一
安全軽視
許せない

多くの反対を押し切り、再稼働したばかりの関西電力高浜原発4号機(福井県)がその3日後(2月29日)、原子炉が緊急停止しました。同機は20日にも放射能を含む冷却水漏れを起こしたばかり。関電の安全軽視、再稼働優先が引き起こした事故です。参院比例予定候補の大門みきし参院議員、近畿2府4県の選挙区予定候補が関電に対し、重大事故への抗議、原因究明、高浜原発の再稼働・運転中止などを求めました。



関電に申し入れる(左 2 人目から)大阪・わたなべ、兵庫・金田、奈良・いずみ、京都・大河原、滋賀・佐藤、和歌山・坂口の各選挙区予定候補

■再稼働のスケジュール優先

高浜4号機の緊急停止は、トラブル公表5段階の基準で最も高いレベル4の重大事態。また原子炉を冷やす冷却水の漏れは重大事故につながりかねません。ところが関電は漏れの原因とされるバルブを締め直しただけで予定通り26日に再稼働というスケジュールを強行しました。

■もうけ第一で強行

3号機も4号機も運転開始から30年以上の老朽炉。いずれもウラン・プルトニウム混合化合物(MOX)燃料の使用が予定されており、過酷事故発生時の被害はとりわけ甚大になります。いま電力不足は起きていません。火力発電所の燃料費を節約し、もうけを増やしたいために原発再稼働を強行したものです。

■4項目を要請

日本共産党は7日、選挙区の大阪・わたなべ結、兵庫・金田峰生、京都・大河原としたか、滋賀・佐藤こうへい、奈良・いずみ信文、和歌山・坂口多美子の6予定候補がそろって関電本店を訪れ、①事故原因の徹底調査と全容公表 ②4号機の再稼働中止、すでに稼働している3号機の運転中止 ③老朽炉1、2号機の廃炉 ④全原発からの撤退—4項目申し入れました。(申し入れ全文は次ページ)

参院選勝利近畿ブロックニュース

TEL06(6975)9111 FAX06(6975)9115

jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp【府県・地区・議員御中】

2016No. 4(16. 3. 7)

近畿いっせい宣伝(11日・金)1000カ所めざし大きく成功させよう

参院選勝利めざす第1回目の近畿いっせい宣伝が11日(金)に行われます。近畿いっせい宣伝は、これまでも近畿は一つで党の風を吹かせるうえで大きな役割を果たしてきました。駅頭を中心に1000カ所をめざし、元気にがんばる日本共産党の姿を有権者に示し、参院選勝利の流れを広げましょう。

高浜原発4号機の相次ぐ重大事故に強く抗議し、4号機の再稼働中止、3号機の運転停止を求める申し入れ

日本共産党

同	参議院議員	大門 みきし
同	大阪府青年学生委員会責任者	わたなべ 結
同	国会議員団兵庫事務所長	金田 峰生
同	京都府委員・弁護士	大河原としたか
同	滋賀県国民運動部長	佐藤こうへい
同	奈良県戦争法廃止闘争本部事務局長	いずみ 信文
同	和歌山県平和・くらし委員長	坂口 多美子
同	国会議員団近畿ブロック事務所	

多くの反対にもかかわらず再稼働を強行した関西電力高浜原発4号機(福井県)で、事故が連続している。先月20日、放射性物質を含む冷却水が漏れたのに続き、同29日には原子炉が緊急停止した。緊急停止はトラブル公表5段階の基準で最も高いレベル4という重大事態であった。

冷却水漏れの原因は、配管の弁のナットの緩みが原因とされているが、原子炉を冷やす冷却水の漏出は重大事故につながりかねない。ところが貴社は、同種の弁を再点検し、起動試験を1日遅らせてただけで当初の予定通り26日に再稼働というスケジュールを強行した。緊急停止はその3日後であった。

もともと4号機はもちろん、3号機の再稼働も電力が不足している訳でもないのに、火力発電所の燃料費などを節約し、もうけを増やしたいがために反対を押し切って強行したものである。貴社の責任は重大である。事故は貴社の安全軽視、再稼働優先が引き起こしたものであり強く抗議する。

高浜原発4号機は、3号機に次いでMOX燃料を使用しプルサーマル発電をすることになっている。過酷事故を起こせば被害はいつそう甚大なものになる。4号機の再稼働は中止し、先に再稼働した3号機も停止すべきである。

ましてや運転開始から40年になろうとする高浜原発1,2号機については20年の運転延長をめざすなどはもっての外である。以下の点を強く求める。

記

- 1、高浜原発4号機の事故に関し、その原因について徹底調査を行い、その全容を公表すること。
- 2、事故を起こした高浜4号機の再稼働を中止するとともに、すでに稼働している3号機の運転を停止すること。
- 3、運転期間が間もなく40年を迎える高浜原発1,2号機については、運転期間の延長の申請を撤回し、ただちに廃炉を決断すること。
- 4、貴社の安全軽視の姿勢は際立っており、原発を運転する資格そのものが問われている。過酷事故を起こせば、近畿全域に取り返しのつかない被害をもたらす。全原発から撤退すること。

以上